

歳月が過ぎて、あたたかい春の日がやってきた。勝利が続いたので、ダビデの王国は揺れることがないように見えた。それで、ダビデは戦場に出る行かずに、王宮にいた。

そのようなるある日の夕方、王宮の屋上を歩いていたダビデは、一人の女がからだを洗っているのを見た。その女は、ダビデの忠実な部下ウリヤの妻パテ・シェバであった。パテ・シェバに一目ぼれしてしまったダビデは、ウリヤや将軍を戦場で死ぬようにさせた。

神様は、ダビデのあやまちをしかるために、預言者ナタンを送られた。ダビデは、神様の前に心から自分のあやまちを悔い改めた。

「王子様、ダビデ王を追い出して、王子様が王にならなければなりません」臣下がアブシャロムを訪ねてきて話した。アブシャロムは、臣下の言うことを聞いて、お父さんであるダビデを追い出すことに決心した。その知らせは、すぐにダビデ王に伝えられた。

「陛下、アブシャロム王子が、反逆をくわだてています。イスラエルの人々が王子を従いはじめました」

ダビデは、とても苦しかった。それで息子アブシャロムを生かすために町をすてて逃げた。

逃げるダビデ王を見たシムイは、ダビデを呪った。しかし、ダビデは彼の言葉を神様の御声だと聞いた。



きょうのみことば

詩 78:70-72
 主はまた、しもべダビデを選び、羊のおりから彼を召し、乳を飲ませる雌羊の番から彼を連れて来て、御民ヤコブとご自分のものであるイスラエルを牧するようにされた。
 彼は、正しい心で彼らを牧し、英知の手で彼らを導いた。

.....

.....

.....

.....

.....

福音にあって最高の幸せをあたえてくださった父なる神様に感謝します。私の中にある幸せを伝えて、どんな環境も祈りで勝利するレムナントにならせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

◎定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

さいこう しあわ
最高の幸せをプレゼントされました



人々は幸せになりたがって、ずっと幸せでいるために、努力します。ところで、レムナントのみんなは、いつ一番幸せですか。

1. すぐになくなるちょっと少しの間の喜び

ゲームして、音楽を聞いて、おこずかいを使って、友だちといたずらをする時が、一番幸せでしょうか。こういう幸せは、ちょっと少しの間の喜びです。サタンはしばらく少しの間の喜びをあたえて、最高の幸せをうばっていきます。

2. 神様がくださった最高の幸せ

神様の子どもは、神様がくださった最高の幸せを持って生きて行きます。最高の幸せを持ったヨセフは奴隷になっても、罪人になっても幸せでした。最高の幸せを持っていたモーセは、堂々とパロ王に行って、神様のみことばを宣言しました。テモテは、キリストの中にある恵みの中で真の幸せを味わいました。この最高の幸せが、まさにレムナントが味わわなければならない幸せです。

3. レムナントが味わう最高の幸せ

ダビデは、サウル王の迫害と数多くの困難の中でも、王になるという希望を抱いてすべてのことを耐えました。レムナントも、定刻祈りの時間に、ダビデのように未来に対する希望をもって絵を描いてみてください。事件とできごと、そして、すべての出合いを常時祈りを通して答えで味わってみてください。礼拝祈りを通して、六日間、神様がくださる解答を見つけてみてください。深い祈りを通して世の中に勝つ大きい力を得てみてください。まさにこれがレムナントが味わう最高の幸せなのです。





わたし ひつよう しんこう 私にかならず必要な信仰

とうとうイスラエルの民は奴隷生活をしていたエジプトから抜け出しました。しかし、まだ約束の地であるカナンに行くだけの信仰がありませんでした。それで、神様はイスラエルの民にいろんな事件に出会うようにされ、大きな信仰を備えさせられたのでした。

きょうのみことば

出 14:1 ~ 13

民の逃げたことがエジプトの王に告げられると、パロとその家臣たちは民についての考えを変えて言った。「われわれはいったい何ということをしたのだ。イスラエルを去らせてしまい、われわれに任せさないとはい」(5)

1. 指導者は正しい信仰を持たなければなりません

これからレムナントは、教会の内や外で多くの人々をリードして行く指導者として立つようになるでしょう。指導者の位置に立つレムナントは、モーセのように神様の力を体験する正しい信仰を持たなければなりません。そうすれば、どんなことに出会っても、揺れないうで信仰で現場で勝利します。

2. 神様の子どもは本当に信仰を告白しなければなりません

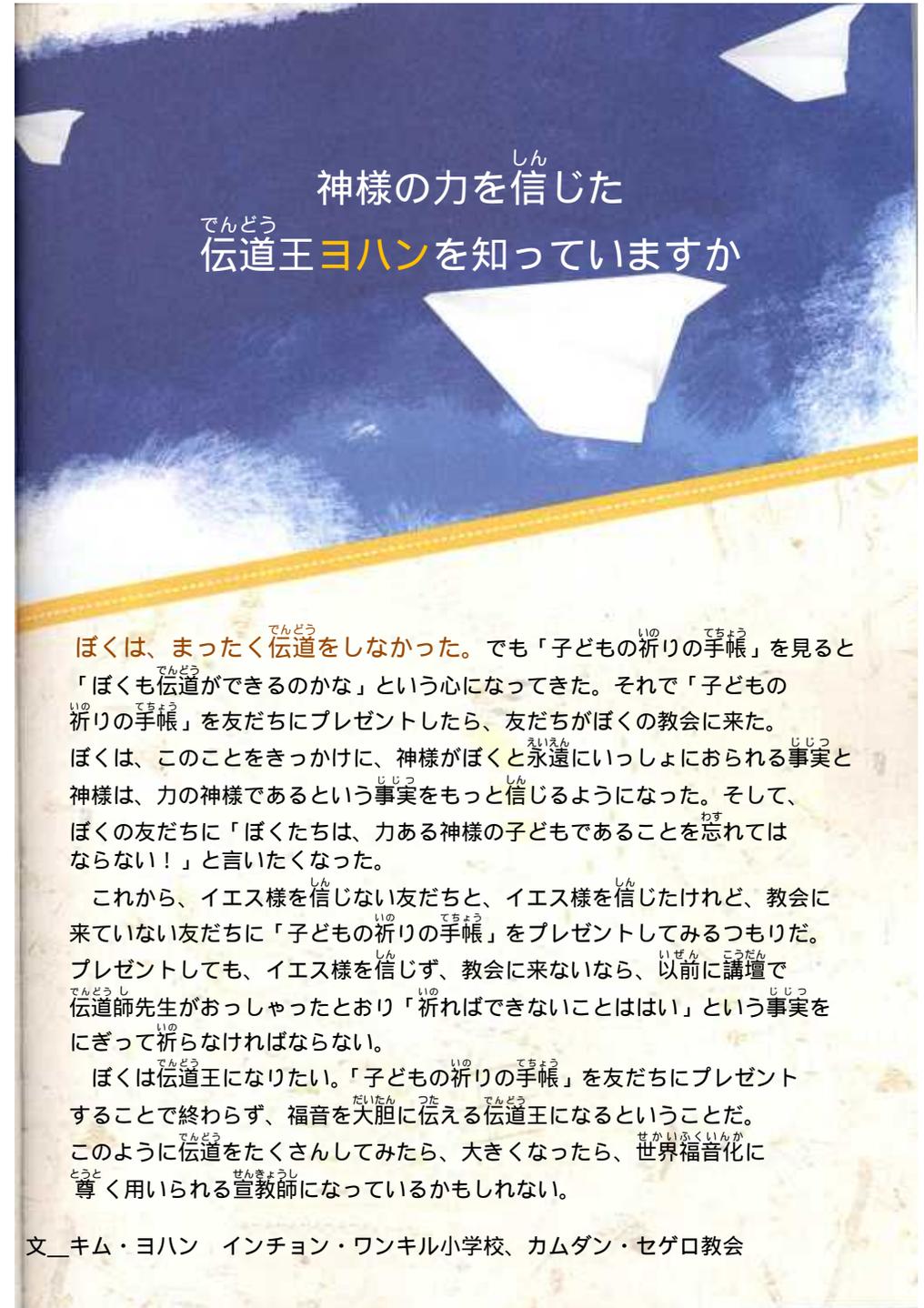
したくないけれど、前に立った人の話に従わなければならない時があります。その時、絶対に不平を言ったり、いらいらして怒ったりしないでください。「私は神様の子どもです!」と言いながら、信仰の告白を試みてください。そして、かっこうよく、従ってみましょう。祝福の道に導いてくださる神様の助けを体験するようになるでしょう。

3. 神様の計画を悟るのが本当の信仰です

神様はレムナントがほろびるように、そのまま放っておかれません。神様の大きい喜びになるように、最後まで導いて、神様の計画の中で福音のエリートとして立てて、行く歩みごとに、みことばと祈りで、神様の力を体験させてくださいます。これを毎日、味わうことが本当の信仰なのです。

わたし いつもいっしょにいて、私のために力で働いてくださる神様に感謝します。いつもいつも祈って信仰をもっと強く持つことができるように助けてください。毎日、わたしをあたえてくださるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

※ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTCのために祈りましょう



神様の力を信じた

伝道王ヨハンを知っていますか

ぼくは、まったく伝道をしなかった。でも「子どもの祈りの手帳」を見ると「ぼくも伝道ができるのかな」という心になってきた。それで「子どもの祈りの手帳」を友だちにプレゼントしたら、友だちがぼくの教会に来た。ぼくは、このことをきっかけに、神様がぼくと永遠にいっしょにおられる事実と神様は、力の神様であるという事実をもっと信じるようになった。そして、ぼくの友だちに「ぼくたちは、力ある神様の子どもであることを忘れてはならない!」と言いたくなった。

これから、イエス様を信じない友だちと、イエス様を信じたけれど、教会に来ていない友だちに「子どもの祈りの手帳」をプレゼントしてみるつもりだ。プレゼントしても、イエス様を信じず、教会に来ないなら、以前に講壇で伝道師先生がおっしゃったとおり「祈ればできないことははい」という事実をにぎって祈らなければならない。

ぼくは伝道王になりたい。「子どもの祈りの手帳」を友だちにプレゼントすることで終わらず、福音を大胆に伝える伝道王になるということだ。このように伝道をたくさんしてみたら、大きくなったら、世界福音化に尊く用いられる宣教師になっているかもしれない。

木曜日

9

きょうのみことば

ローマ 2:1~16

ですから、すべて他人をさばく人よ。あなたに弁解の余地はありません。あなたは、他人をさばくことによって、自身を罪に定めています。さばくあなたが、それと同じことを行なっているからです。
(1)

のろいから抜け出そう

神様は悪を行う人にのろいをくだされ、善を行う人に祝福してくださるお方です。神様側に立ったことが「善」で、神様に反対することが「悪」です。私たちは神様に敵対して、のろいから抜け出して、神様を見上げる祝福を受けたレムナントです。

1. 神様は聖霊様を送ってくださいました

神様が大きい愛をあたえてくださった、私たち罪から救い出されしました。神様は世の中に勝って答えを受ける祝福の座に私を導かれました。イエス・キリストの名前で送られた聖霊様が、私たちを助けて導いてくださいます。

2. 聖霊様が霊的頂上に導いてくださいます

聖霊様の助けによって、霊的頂上にあがります。山の頂上から見下ろせば世の中がひと目でみな見えてくるように、霊的頂上から見れば、神様のみことごと計画がひと目で見えてきます。現場に起きるすべてのことが神様の計画で、私を福音エリートとして完成していかれる過程だという事実が信じられます。

3. サタンにだまされないように注意しましょう

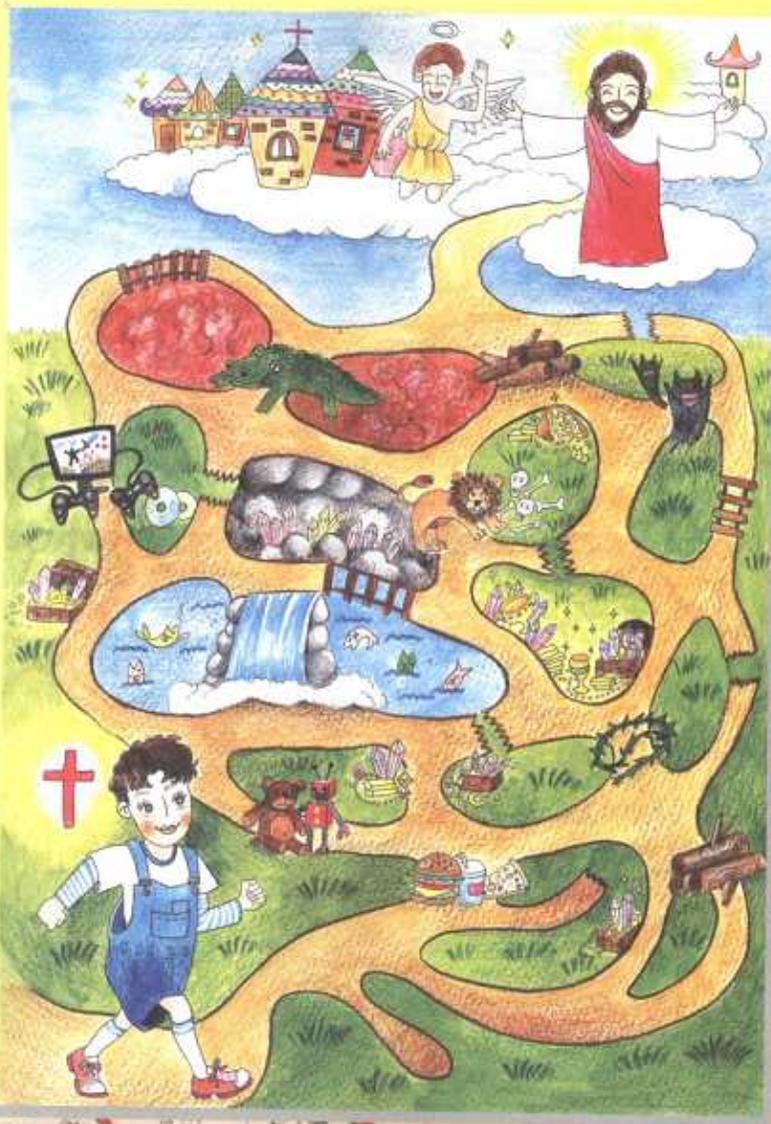
聖霊様の助けを受けて、神様が導かれる道に行く中にも、サタンはまちがいなく妨害します。特に不平不満とがっかりすること、他の人に対してさばくという手法で、レムナントの心と思いを乱れさせます。それで、レムナントは心と思いを守ってくださいと祈らなければなりません。

私に聖霊様を送ってくださって祝福の場に導いてくださる神様に感謝します。もっと神様に近づいて、神様が導いてくださる道を行き、のろいにひっぱるサタンにだまされないように助けてください。イエス様のお名前によってお祈りします。アーメン

※ 定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう



せいれいさま みちび
聖霊様の導きにしがって、道を行こう！



かこぬ 過去から抜け出そう

金曜日
10

きょうのみことば

ヨハネ 1:2

愛する者よ。あなたが、たましいに幸いを得ているようにすべての点でも幸いを得、また健康であるように祈ります。

1. まず霊的な力を体験しましょう

神様の子どもたちの心の中には聖霊様がおられます。聖霊様が神様の子どもを導いて、霊的な力(霊力)、知恵の力(知力)、健康の力(体力)、経済的な力(経済力)、出会いの祝福(人材)をあたえてくださいます。レムナントは、この霊的な力を毎日、体験しなければなりません。

2. 霊的な力を得てこそ、一生の祝福を発見します

霊的な力を得れば、一生の祈りの課題と伝道の方角と献金計画を発見することができます。このようなものなどを発見する時、私を生かす定刻祈りと、現場で勝利する常時祈りとみことばが成就する礼拝祈りになります。これがレムナントが一生味わわなければならない祝福です。

3. 過去から完全に抜け出すことができます

過去で完全に抜け出さないという言葉は、誤った習慣、考え、体質をみな変えなさいということです。祈りの中で神様があたえられる力を得れば、過去から抜け出して、現場で大小の答えを発見できます。そして、傷という過去の障害物が、むしろ答えと祝福という未来の土台であることをさとるようになります。

過去のよくない習慣と考えと体質を変えて、未来の土台にさせてくださって感謝します。聖霊様が働かれることを体験して、力を受ける一日になるように働いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

★定刻祈りの点検：昼 12 時 教会のために祈りましょう。夜 9 時 RUTC のために祈りましょう

11日(土)

れっ、れっ、れっに よくならぼう

綿菓子^{わたがし}を広げたようなうすい雲^{くも}が、暑^{あつ}さをさっとなくすようだ。道にそってずらっと立っている、柳^{やなぎ}の木^きが私たちの家族を喜^{よろこ}ぶようにそよそよと揺れていた。ところで、車の速度^{そくど}がおそくなって、すぐ止まってしまった。車がなぜこんなに多いのかなか、これから進んでいくようには見えなかった。

休日^{きゅうじつ}になって、遊園地^{ゆうえんち}へ向かう車がいっぱいだったのだ。「パパ、こんなのじゃ、時間がすぎてしまうよ」

「私は、おしっこがしたくてたまらない」

「おまえたち、この道だけ抜け出れば、すぐに到着^{とうちやく}するから、少しだけ待^{まち}とうね」

ついに到着^{とうちやく}した私たちは、入場券^{にゅうじょうけん}を買いに行った。入場券^{にゅうじょうけん}を買うところは、まるでこんがらかった糸^{いと}のからみ合いのように、からまっていた。

「ママ、入場券^{にゅうじょうけん}を買うだけで、もう疲れたね」

私^{わたし}がぶうぶうと言ったら、ママは私^{わたし}の手をぎゅっとにぎって言った。

「道^{まち}に迷^{まよ}ってはいけないから、シンジはパパの手をにぎって、マ리는ママの手をしっかりとにぎってね」

口をとがらせた私^{わたし}は、何も言わなかった。

大変^{たいへん}な思^{おも}いをして入場券^{にゅうじょうけん}を買って入った

私^{わたし}たちは「何^{なに}に乗ろうか」と言いながら、まわりをきょろきょろ

見まわした。遠^{とほ}くに、ジェットコースターが見えて私^{わたし}とシンジは、ママとパパの手を引いて、わけもわからないで、ぼおっと

していた。でも、また、列^{れつ}が、あめがとけたように、ずらっと

ならんでいる姿^{すがた}を見て、ため息^{いき}がフーと出た。

「パパ、30分だけ待^{まち}ったら、私^{わたし}たち乗れるのかな。私^{わたし}、本当にジェットコースターに乗^のりたいの」

「そうだな、よくわからないけど、少しだけ待^{まち}てば乗れるよ」

それで、しばらく、列^{れつ}にならんだ。ところで、建物^{たてもの}の後^{うしろ}を回^{まわ}って、列^{れつ}が曲^まがっていたのだ。

「え、あの列^{れつ}はなに？」

「どこのこと？」

「あっちの道の向^{むか}かい側^{がわ}にも人々^{ひとびと}がならんで立^たっているよ！」

「兄^{あに}さん、ひょっとしてあの列^{れつ}がジェットコースターに乗^のるのじゃないの？」

「まあ、あなた、私^{わたし}たちは列^{れつ}をまちがって、ならんでいるみたいよ。あら、どうしましょう」

列^{れつ}にならんで、30分をすぎて、やっと私^{わたし}たちの家族はジェットコースターではなく、スーパーバイキングに乗^のる所に立^たっていたということを知^しるようになった。

「ジェットコースターに乗^のる列^{れつ}だと思って30分以上も待^{まち}ったのに、とてもくやしい！」

私^{わたし}は、むずがりながら話した。

「マリ、お父^{ちち}さんは、急^{きゅう}にこんな気がしてきたよ。人々^{ひとびと}は、科学^{かがく}、哲学^{てつがく}、知識^{ちしき}、宗教^{しゅうきょう}が神様^{かみさま}に会^あう列^{れつ}だと思って立^たっているけれど、その列^{れつ}が、結局^{けっきょく}は滅^{ほろ}びの列^{れつ}だったということを知^したら、どんな気分だろう、ということだよ。

私^{わたし}たちも遅^{おそ}くなったけれど、今^{いま}からでもジェットコースターに行く列^{れつ}にならぼうか。どうだい」

「うん。いいよ！」

私^{わたし}はパパの手をにぎって、先^{すす}に進^{すす}んだ。

※定刻^{ていこく}祈^{いの}りの点検^{てんけん}：

昼^{ひる} 12時

教会^{かいわい}のために祈^{いの}りましょう。

夜^{よる} 9時

RUTCのために祈^{いの}りましょう